

# Day3

時制と未来の表現を  
使えるようにしよう！



# Unit7. 現在進行形

今まさに起きている出来事をあらわす場合、現在進行形を使います。現在進行形は、文の述語動詞の形を“be+動詞のing形”にすることで作ります。

## 主語が単数形の場合

主語のタイプ	現在進行形の形	短縮形
I (私は)	I am working ...	I'm working ...
You (あなたは)	You are working ...	You're working ...
He (彼は) / She (彼女は) / It (それは)	He is working ... / She is working ... / It is working ...	He's working ... / She's working ... / It's working...

## 主語が複数形の場合

主語のタイプ	現在進行形の形	短縮形
We (私たちは)	We are working ...	We're working ...
You (あなたたちは)	You are working ...	You're working ...
They (彼らは, 彼女らは, それらは)	They are working ...	They're working ...

## ～練習問題～

Q1. 動詞の形を変えて現在進行形を作しましょう。

1. They walk ...
2. He talk ...
3. I live ...

Q2. 日本語訳を手がかりに、空白の中に適切な動詞を選んで入れましょう。  
文はいずれも現在進行形になります。

1. She \_\_\_\_ a shower.  
(彼女はシャワーを浴びている)
2. They \_\_\_\_ TV.  
(彼らはテレビを観ている)
3. I \_\_\_\_ you the truth.  
(真実を述べています)
4. He \_\_\_\_ on the beach.  
(彼は海岸を歩いている)

walk, watch, take, tell

## \解答はこちら／

Q1.

1. walk ...

2. talk ...

3. live ...

1. **She is taking** a shower.

(彼女はシャワーを浴びている)

2. **They are watching** TV.

(彼らはテレビを観ている)

3. **I am telling** you the truth.

(真実を述べています)

4. **He is walking** on the beach.

(彼は海岸を歩いている)

注: 実際の会話では、She's taking ...

のように、短縮形の使用が一般的です。

# Unit8. 過去形

過去の出来事をあらわすには、過去形を使います。過去形には、動詞の語尾に **-ed** をつける規則変化動詞と、それ以外の形に変わる不規則変化動詞があります。

## 規則変化動詞の作り方

原形	過去形の形
<b>work</b>	worked

## 不規則変化動詞の作り方 (例)

原形	過去形の形
<b>eat</b>	ate
<b>meet</b>	met
<b>cut</b>	cut

不規則変化動詞は他にもたくさん種類があります。一覧はトイグルの別記事をご覧ください。

※英語の不規則変化動詞一覧

<https://toiguru.jp/irregular-verbs>

## ～練習問題～

Q1. 次の動詞を過去形にしましょう。

1. walk → ...
2. push → ...
3. like → ...

Q2. 日本語訳を手がかりに、空白の中に適切な動詞を選んで入れましょう。  
文はいずれも過去形になります。

1. I \_\_\_ to work with you.  
(あなたと働きたかった)
2. I \_\_\_ a bus to London.  
(バスでロンドンに行った)
3. She \_\_\_ at me.  
(彼女は私を見た)

take, look, want

## \解答はこちら／

1. walked
2. pushed
3. liked

1. I **wanted** to work with you.  
(あなたと働きたかった)
2. I **took** a bus to London.  
(バスでロンドンに行った)
3. She **looked** at me.  
(彼女は私を見た)

# Unit9.未来の表現

英語で未来をあらわすには、will または be going to を使います。will を使った表現が普通ですが、未来の出来事の予兆が既にあらわれているような場合、be going to を使用します。

## \* will の使い方

主語のタイプ	動詞の形
I / We	will work
You	will work
He (She, It) / They	will work

## \* be going to の使い方

主語のタイプ	動詞の形
I / We	am/are going to work
You	are going to work
He (She, It) / They	is/are going to work



## ～練習問題～

Q1. be going to の適切な形を選びましょう。  
(すべて現在時制です)

1. We \_\_\_ going to ...
2. He \_\_\_ going to ...
3. You and I \_\_\_ going to ...

Q2. 日本語訳を手がかりに、適切な動詞を  
選んで文を完成させましょう

1. It's going to \_\_\_\_ .  
(雨が降りそうだ)
2. I'll \_\_\_\_ in Tokyo next month.  
(来月は東京にいます)
3. The race is going to \_\_\_\_ .  
(レースが始まります)
4. I'll \_\_\_\_ you back later.  
(あとでかけ直します)

be, call, start, rain

## \解答はこちら／

Q1.

1. are
2. is
3. are

Q2.

1. It's going to **rain**.  
(雨が降りそうだ)
2. I'll **be** in Tokyo next month.  
(来月は東京にいます)
3. The race is going to **start**.  
(レースが始まります)
4. I'll **call** you back later.  
(あとでかけ直します)